

年金者部会ニュース

滋賀銀行
従業員組合
年金者部会
TEL077-521-2775
FAX077-525-5232

グラウンドゴルフで 初夏の一日を楽しみました

6月2日 リバーヒル大石



石山駅北口に年金部会員の皆さんが降り立ち、迎えのリバーヒル大石のマイクロバスに次々に乗り込み、会場に向かいました。小谷城址へのハイキング以来、3年ぶりの屋外行事でバスの中から会話が弾みます。瀬田川沿いを南下、立木観音参道前を過ぎ、橋を渡って大石小学校前を通りしばらくして会場「リバーヒル大石」に到着しました。



若葉の緑も鮮やかに映える初夏の第一土曜日、当日は曇りで暑くもなく絶好の日となりました。4月30日定年退職となった小原信夫書記長も年金部会に入会、初参加。総勢25名が参加しました。

グラウンドゴルフの本日の責任者、古田雅二世話人からルールの説明を受け、23人が6組に分かれてコースへ。1コース8ホールを2回合計16ホールで順位を競いました。



約1時間半参加者全員が真剣にプレーし、ホールインワンの歓声があちこちです。一方、6たたいでも入らないと落胆する声も。あつという間にゲームは終了しました。

親睦会の部屋に集合、成績の集計を行い、1位から3位までと7位、10位、15位、20位とブービー賞の飛び賞の賞品を授与。お腹も空いて早速親睦会に。最高齢者84歳の日根野さんの発声で乾杯。親睦会の中ほどからグラウンドゴルフの入賞者、飛び賞受賞された会員の喜びの声が入り賑やかな親睦会となりました。

入賞者は次の通りです。

- 1位 坂本 幸男さん。
- 2位 野添 正一さん。
- 3位 倉田 源兵衛さん。

谷事務局長から皆さんに、以下の項目について確認して「ちぎんしがの会」が立ち上がりました。

1. 会計は年金者部会の財政を事業の都度補助金として支出する。
2. 従組卒業生は誰もが会員となり、さざなみネットや加入希望者は誰でも入ることがができる。
3. スタート時となる初回行事の案内をする基準は世話人会で協議する。

「ちぎんしがの会」 (従組OB会)



私の近況 ②

今回はグラウンドゴルフと親睦会に参加できなかった会員から寄せられた返信葉書に書かれたコメントを掲載します。

相変わらず通院に追われて
います。皆様によりしくお伝
え下さい。 上原 みね

いつも欠席して申し訳あり
ません。2ヶ月半、孫の世話
に明け暮れています 片岡 貞子

夏野菜の手入れで多忙です
久保田 秀雄

いつもお世話になります。
申し訳ありませんが店の都合
で参加できません。皆様によ
ろしくお伝え下さい。 田中 紀美子

他の会議と重なり申し訳あ
りませんが欠席させていただきます。 寺谷 久子

ご案内ありがとうございますま
した。6月の前半は、土、日
ともに用事があり勝手ながら
欠席いたします。今後ともよ
ろしくお願い致します。 西村 吉弘

5月、6月所要が多く欠席
します。 馬場 正男

体調少しも上向きの様子な
く残念です。 山本 武一郎

滋賀民報(四月十五日号)
の暮らしの相談室に坂本幸男
さんの体験に基づく高齢化社
会に対応する制度の充実を求
めるご意見が掲載されていま
したので紹介します。

家族が突然倒れたら・・・

坂本 幸男

突然身の回りで起こること
にあまりいいことはありません
ね。家族が交通事故や病氣
で突然倒れる・・・何の心の
準備もなく、困難な事態に戸
惑ってしまうのが普通です。

3月始め、当NPO相談員
Yさんのお姉さんが脳梗塞で
倒れました。こうした事
例の相談も受けていたYさん
は冷静に対応されたようです
が、困難が解消された訳では
ありません。



お姉さんの夫
も高齢のため
同時にお2人
のお世話とい
う負担が、家
族・親族にか
ぶさってきま

す。

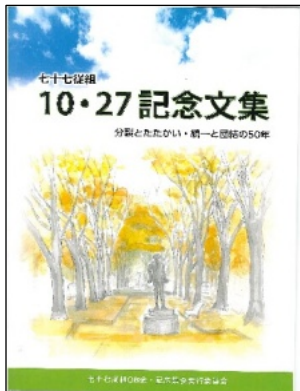
実は6年前、私の兄が突然
右脳出血で倒れました。兄は
一人で母(92歳)を在宅介護し
ており、母と兄の世話をどう
するかが問題になりました。
兄は緊急に手術しましたが、
回復までどれくらいかかるか
わかりません。その間、母を
どうするか。あちこちかけず
り回って、ようやく老健施設
に入所できましたが、短期で
す。すぐに次の施設を探さね
ばなりません。本当に右往左
往しました。

兄は1カ月くらい意識のな
い状態でした。6カ月の間に
回復の見込みがない場合は、
リハビリ訓練もしてもらえま
せん。そうなると長期療養と
なり、病院をたらい回しされ
ます。兄は1年後、母は3年
後に亡くなりましたが、いつ
たん病気になる、「人間らし
い生活」が奪われてしまうと
感じました。

実際、発症からほぼ60日ぐ
らいで、「A」「B」のコー
スに分けられるのです。
A・運動機能の回復が可能と
見込まれるとリハビリ訓練に
移行
B・回復見込みがなく症状固
定の場合は長期療養に移行
「B」が、俗に言う「寝たき
り」状態が続くという不幸な

事態です。いずれにしても家
族・親族は医療・老人施設探
しに大きな負担を背負います。
高齢化社会に対応できる制
度の充実が急務です。それに
本人の介護に時間を費やすだ
けでなく、長期間の留守宅の
維持・管理も必要です。さら
には経済的な処理も大変にな
ります。
当NPOは、こういう実体
験も参考にしながら高齢化社
会に対応する相談・支援を続
けています。

七十七従組OB会が 分裂とたたかい・統 一と団結の五〇年の 記念文集を発行



七十七銀行従業員組合分裂
から50年目の昨年10月27日、
「分裂とたたかい・統一と団
結の50年記念集会」が開かれ

た記念に、記念集会実行委員
会が記念文集の発行を七十七
従組OB会員に諮ったところ
27名のOB会員から投稿があ
り、2012年4月2日に七
十七従組OB会記念集会実行
委員会から発行されたとして
います。

また、文集のあとがきで記
念集会実行委員長の小野昌一
郎さんは、パソコンに入力し
ながら「100人あまりの組
合員が、本当に全身全霊を使っ
て闘い、つかんだ勝利だと言
うことがよくわかりました。
これは宝物です」と書かれて
います。

「短歌三首」が掲載されて
いました。紹介します。

◆集いたる
老々男女笑み浮かべ
半世紀なる 絆たし
かむ

◆スクラムで
歌いし我ら五十年
前期高齢 後期高齢

◆後世に
語り継ぐべし偉人伝
10・27 祝日にして

(文集は事務局にありますので お読
みになりたい方は、 谷事務局長ま
で連絡を下さい)